

業務実績報告書

提出日 2020年 1月 16日

1. 職名・氏名 准教授・杉山泰之

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 大阪大学、授与年月 H20.6

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済学 A（2 単位、2 年生、2017 年度、2019 年度） *07 年度以前入学生の「貿易論」にあたる。
②内容・ねらい （Ⅰ）貿易が起こる理由と一国の輸出入のパターン、（Ⅱ）貿易がもたらす利益とその源泉、（Ⅲ）貿易政策の効果等について基礎的な理論を学ぶとともに、国際貿易体制や貿易取引の現状を把握し、現実の貿易に関する諸問題を見る目を養うことが目標である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 この講義においては、重要なトピックをある程度しぼり込み、それらを図や簡単な数式等から直感的に解説するよう心がけている。また、配布資料に空欄を設けるなどして、重要な点は学生に板書から直接書き取ってもらう方法を取っている。練習問題を用いて講義への理解の向上も図っている。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済学 B（2 単位、2 年生、2017 年度、2019 年度） *07 年度以前入学生の「国際金融論」にあたる。
②内容・ねらい （Ⅰ）為替レートの決定とその要因、（Ⅱ）為替レートの変化と貿易収支の調整、（Ⅲ）為替介入や開放経済下における財政・金融政策の効果等について基礎的な理論を学ぶとともに、国際通貨制度や国際金融取引のしくみを把握し、現実の国際金融に関する諸問題を見る目を養うことが目標である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 この講義においては、重要なトピックをある程度しぼり込み、それらを図や簡単な数式等から直感的に解説するよう心がけている。また、配布資料に空欄を設けるなどして、重要な点は学生に板書から直接書き取ってもらう方法をとっている。練習問題を用いて講義への理解の向上も図っている。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経済学特講 C、経営学特講 C（2 単位、2 年生、2019 年度） *唱新教授、池下譲治教授と共に担当
②内容・ねらい 「アジアの経済発展と福井」というテーマで、アジアにおける経済発展の現状と各国の経済開発政策の展開、及び日本の対応。また、福井県企業の海外展開を中心に、アジアと福井の経済的なつながりなどについて学んでいった。アジアを中心に国際経済への理解を深め、現状を把握し、様々な経済問題を見る目を養うこと。そして、海外との結びつきを踏まえて、日本および福井の将来について考えられるようになることが、この授業の目標である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 上記のテーマに沿って、毎回、JETROや福井県を代表する企業から講師を招き、オムニバス形式で講義を開催した。受講者は300人を超えていたが、毎回の講義の感想だけでなく、アジアの経済発展、そしてこれと密接に関連する日本及び福井の将来についてどのような考えを持ったかをレポートとしてまとめることにした。なお、11月6日4限には、「アジアの経済開発と環境保護」というタイトルで私自身も講義を担当した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
基礎ゼミ（2単位、2年生、2017年度～2019年度）

②内容・ねらい

経済学の理論的な考え方を身につけること。その上で、現実の経済問題について調べ、その問題に対する自分なりの考えをまとめること。そして、今後の専門科目の勉強・研究に向けて目的意識を高めていくことが目標です。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

例年、こちらが準備した資料に沿って、ミクロ経済学、マクロ経済学の復習を含め、経済学に関するいくつかのトピックについて、補足説明を入れつつ、輪読している。後半には学生自らの興味のあるトピックを三つあげてもらい、グループに分かれて調べ、報告しあうことで、今後の専門科目の勉強・研究への足掛かりとしている。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
外書講読Ⅰ（2単位、2年生、2017年度～2019年度）

②内容・ねらい

英語で書かれた国際経済学（特に貿易論）の文献講読を通じて、以下の3つの力を養うことを目標としている。（Ⅰ）英語の文献や資料を読解し、要旨を的確に把握する力を養う。（Ⅱ）国際経済学に関する専門用語を日本語だけでなく英語でも押さえる。（Ⅲ）自由貿易のメリットとデメリットについて理解する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

外書講読ではグローバル化が進展するなかでの国際貿易のあり方について見解を述べた文献を輪読しているが、ここ数年はPaul Krugman, et al., “International Economics: Theory and Policy” (11th edition), Pearson Education,を参考に、貿易政策の経済効果や貿易をめぐる様々な問題について取り上げた。理論的な解説が必要な箇所はこちらで補足説明を行い、重要な問題については学生に意見を発表してもらい、それを基に話し合うことで、問題意識の形成に努めた。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅰ（4単位、3年生、2017年度、2019年度）

②内容・ねらい

国際経済学の理論的な知識を修得すること、世界経済の状況や貿易・国際金融システムとその機能を把握すること、このゼミを通じて自分の意見をまとめ、しっかりと伝えられるようになることが目標である。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

例年、まず標準的なテキストやこちらからの補足資料を参考に、国際経済に関する理論を学ぶとともに、回帰分析など、データ分析のための基礎的知識の修得を目的とする合同ゼミを行っている。その後、いくつかのチームに分かれてテーマを決めて調査・研究を行い、その成果を中部経済学インターゼミや他大学との合同ゼミなどで発表している。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅱ（4単位、4年生、2017年度、2018年度）

②内容・ねらい

演習Ⅰでとり上げた内容から一歩進んだレベルの国際経済学の理論を修得すること、国際経済の諸問題についてそれらの理論を用いて一考察を加えること、ゼミを通じてその内容をまとめ、報告することなどが目標である。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

2018年度については、ゼミ生全員が卒業論文を提出することを目標に演習Ⅱを進めた。各自が興味に応じて課題を設定し、関連する文献や記事を調べ少しずつ文章にしていっていった。その際、今日の経済問題への理解を深められるよう、毎回進捗状況を報告し、それぞれの研究課題について意見や感想を述べ、お互いに話し合うことを大切にしました。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済特論（2単位、大学院、2017年度、2019年度）
②内容・ねらい 本講義では国際経済学（国際貿易論・国際金融論）の理論的な分析手法の修得に加え、国際収支統計等を用いて国際経済取引の現状についても確認する。これらの考え方に基づいて、新聞等の国際経済欄の情報を一定程度理解できるようになること、そして、その情報に対して何らかの発言ができるようになることを目標としている。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 この講義においては、国際経済学の重要な理論について、図や簡単な数式等を用いて直感的に解説するよう心がけている。基本的にはこちらの準備した資料を基に解説しているが、内容については、履修する大学院生の興味に応じて適宜修正している。
(2)非常勤講師担当科目
・放送大学福井教育センター、社会と産業「国際経済学入門～貿易理論を学ぶ～」、（集中講義、2018年度）
(3)その他の教育活動

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 論文 “Oligopolistic eco-industries with free entry and trade liberalization of environmental goods”, <i>The International Economy</i> , Vol.22, pp.33-47, 2019.（査読あり） *Yungho Weng 教授（台湾・国立政治大学）、阿部顕三教授（大阪大学）との共著 “International Recycling Firm Joint Ventures and Optimal Recycling Standards”, <i>Environmental Economics and Policy Studies</i> , Vol.21, No.3, pp.427-449, 2019.（査読あり） *Patcharin Koonsed（タイ・商務省）との共著 "Environmental R&D, Imperfectly Competitive Recycling Market, and Recycled Content Standards", <i>Economics Bulletin</i> 37(4): pp.2970-2979, 2017.（査読あり） *Patcharin Koonsed（タイ・商務省）との共著 "The Transfer of Emissions Abatement Technology and Environmental Policies", 『経済経営研究』第36号: pp.45-50, 2017.
② 著書（分担執筆）
③ 学会報告等 *本人報告のみ National Chengchi University, 4th International Conference of Economics Forum, “Optimal Policy for Environmental Goods Trade in Asymmetric Oligopolistic Eco-industries” (Taipei, National Chengchi University, September 7, 2018) Asia Pacific Trade Seminars (APTS), 13 th Annual Meeting “International Joint Ventures between Recycling Firms and Optimal Recycling Rates” (Hanoi, Foreign Trade University, June 17, 2017)
④ その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動

学会での役職など

学会・分科会の開催運営

日本国際経済学会、2018年度第77回全国大会プログラム委員

(3)研究会活動等

①その他の研究活動参加 *本人報告のみ

2019年度琉球経済学ワークショップ

“Skill formation and the production of environmental goods: The role of public education”

(沖縄大学、2019年7月13日)

Nagoya International Economics Study Group and Queensland University of Technology Joint Workshop, “Public Environmental Education and the Promotion of Environmental Goods and Services”

(Australia, Queensland University of Technology、2019年5月21日)

Nagoya International Economics Study Group and University of Catania Joint Workshop

“Optimal Policy for Environmental Goods Trade in Asymmetric Oligopolistic Eco-industries”

(Italy, University of Catania、2019年2月18日)

2018年度日本国際経済学会、第4回関西支部研究会

“Optimal Policy for Environmental Goods Trade in Asymmetric Oligopolistic Eco-industries”

(関西学院大学大阪梅田キャンパス、2018年11月18日)

2017年度日本国際経済学会、第4回関西支部研究会

"Trade Liberalization, Firm Heterogeneity, and the Efficacy of Emission Standards"

(関西学院大学大阪梅田キャンパス、2018年1月20日)

②その活動による成果

(4)外部資金・競争的資金獲得実績

科研費(基盤(C), 2018年度-2020年度)

研究課題名:「寡占の一般均衡理論を用いた貿易と環境の分析: スキルプレミアムへの影響を踏まえて」

課題番号: 18K01576、研究代表者: 杉山泰之

科研費(基盤(C), 2015年度-2018年度) *1年間の延長期間を含む

研究課題名:「開放経済下における環境産業の理論分析: 環境保護に関する消費者の異質性を踏まえて」

課題番号: 15K03440、研究代表者: 杉山泰之

科研費(若手研究(B), 2011年度-2014年度) *1年間の延長期間を含む

研究課題名:「雇用の受け皿としての環境産業について-開放経済下での分析-」

課題番号: 23730246、研究代表者: 杉山泰之

(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会、副委員長（2016年度～2018年度）
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ （公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
④ （兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ その他
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講
② 社会人・高校生向けの講座 <u>2018年度</u> 大学訪問の際の模擬講義（鯖江高校、10月26日） <u>2017年度</u> 学部学科説明会での模擬講義（武生高校、7月12日）
③ その他 <u>2019年度</u> 経済学特講C、経営学特講Cでの公開講義 タイトル：「アジアの経済開発と環境保護」（福井県立大学、11月6日） 韓国・江陵原州大学の先生方を招いての学部生向け交流セミナーの開催 安祐徹助教授、李準燮助教授による研究紹介（福井県立大学、12月19日）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
<u>2019年度</u> 台湾・台中科技大学と真理大学での講演 タイトル：「アジアの経済開発と環境保護」 （台中科技大学、11月13日、真理大学、11月14日） <u>2018年度</u> 藤島高校 SSH、研究アドバイザー

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
(2)委員会・チーム活動
新入生交流オリエンテーション企画運営委員（2018年度、2019年度）*2020年4月4日開催予定、リーダー ふくいCOC+、留学生定着ワーキンググループ委員（2017年度～2019年度） 教育研究委員の部局内サポート（2018年度）

教育研究委員（2017年度）
経済学部研究会幹事（2017年度）

(3)学内行事への参加

2019年度新入生交流オリエンテーション（2019年4月6日）
2017年度新入生オリエンテーション合宿（2017年4月8日～9日）

(4)その他、自発的活動など

地域経済研究所 兼任（2017年度、2018年度）